

NRIだより

野村総合研究所
Nomura Research Institute

NRI 未来創発
Dream up the future.

2019年3月期 第2四半期
[2018年4月1日~2018年9月30日]

2019年3月期上期は、
売上高、営業利益ともに、
上期としての過去最高を
達成しました。

- P1 株主の皆様へ
- P2 決算ハイライト
- P4 上期トピックス
- P6 特集1 [NRI Professional]
- P7 特集2 [NRI Workplace]
- P8 お知らせ/株主メモ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

米国を起点とした貿易摩擦問題や相次ぐ自然災害などの影響が懸念されるものの、国内景気は緩やかな回復が続いており、企業の情報システム投資は堅調に推移しています。AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、クラウドなどの情報技術の進化により、多くの企業が、情報技術を活用してビジネスモデルを変革する「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の取組みを進めています。

このような事業環境の中、2019年3月期上期のNRIの業績は、上期として過去最高の売上高、営業利益を達成しました。また、海外売上高は、豪州事業を中心に拡大し、売上高の10%超を占める規模に拡大しています。

NRIは引き続き、持続的な利益成長と株主還元の両立に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月
代表取締役社長

此本 臣吾

決算ハイライト

決算のポイント

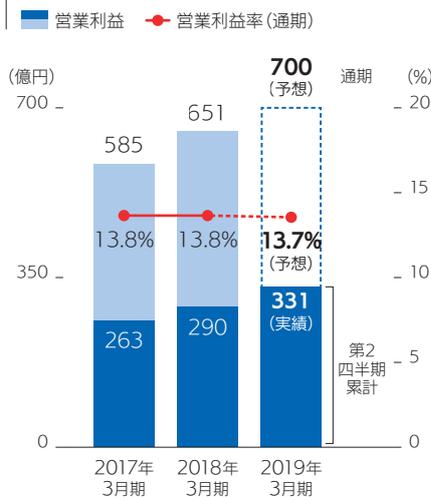
- POINT ①** 売上高は、コンサルティングや産業ITソリューションを中心としたデジタル・トランスフォーメーション (DX) 関連ビジネスの拡大、金融ITソリューションにおける保険業向け事業の拡大、豪州事業の拡大などが寄与し、2,404億円(前年同期比9.2%増)となりました。
- POINT ②** 営業利益は、コンサルティングや産業ITソリューションなどの増収効果や、豪州事業のM&Aに伴うコスト削減の取組みなどが寄与し、331億円(同13.8%増)となり、営業利益率は13.8%(同0.6ポイント増)となりました。
- POINT ③** 親会社株主に帰属する四半期純利益は、229億円(同31.3%減)となりました。当期は大きな特別損益がなかった一方で、前年同期にあった大きな投資有価証券売却益の反動のために減少しました。

| | 2018年3月期 第2四半期累計 | 2019年3月期 第2四半期累計 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|---------------------|---------------------|--------|--------|
| 売上高 | 2,202億円 | 2,404億円 | +201億円 | +9.2% |
| 営業利益 | 290億円 | 331億円 | +40億円 | +13.8% |
| 売上高営業利益率 | 13.2% | 13.8% | - | +0.6p |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 333億円 | 229億円 | △104億円 | △31.3% |
| 1株当たり四半期純利益 | 136円 | 96円 | △39円 | - |

売上高



営業利益／営業利益率 (通期)



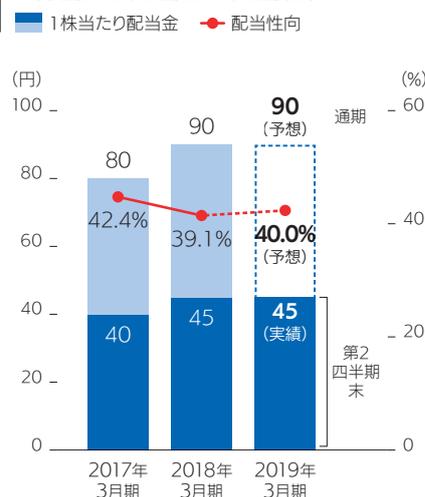
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



1株当たり四半期 (当期) 純利益



1株当たり配当金／配当性向



(注) 1. 記載金額は、億円未満 (1株当たり四半期 (当期) 純利益及び1株当たり配当金は円未満) を切捨てて表示しています。

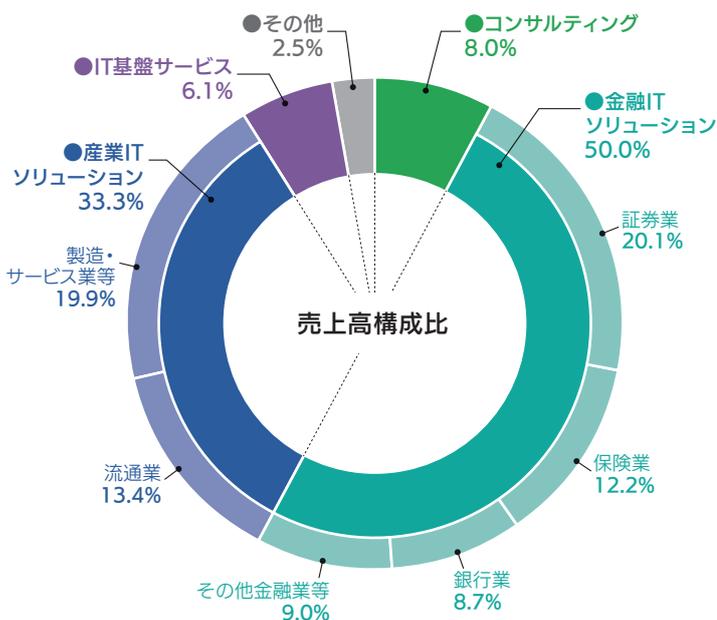
2. 2019年3月期通期予想は2018年10月25日に発表したものです。業績予想は当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当社は、2017年1月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行いました。1株当たり四半期 (当期) 純利益金額、1株当たり配当金及び配当性向は、株式分割が2016年3月期の期首に行われたと仮定し算定しています。

セグメント業績のポイント

- POINT ① コンサルティングと産業ITソリューションは、豪州事業の拡大のほか、デジタル・トランスフォーメーション (DX) 関連ビジネスなどが寄与し、売上高及び営業利益率ともに大きく成長しました。
- POINT ② 金融ITソリューションは、保険業及びその他金融業等向けが増加した一方で、証券業向けが減少した結果、売上高は前年同期並みでしたが、営業利益率は改善しました。
- POINT ③ IT基盤サービスは、セキュリティ事業などが寄与し、売上高が若干増加しました。

セグメント別外部売上高 (2019年3月期第2四半期累計)



売上高前年同期比較

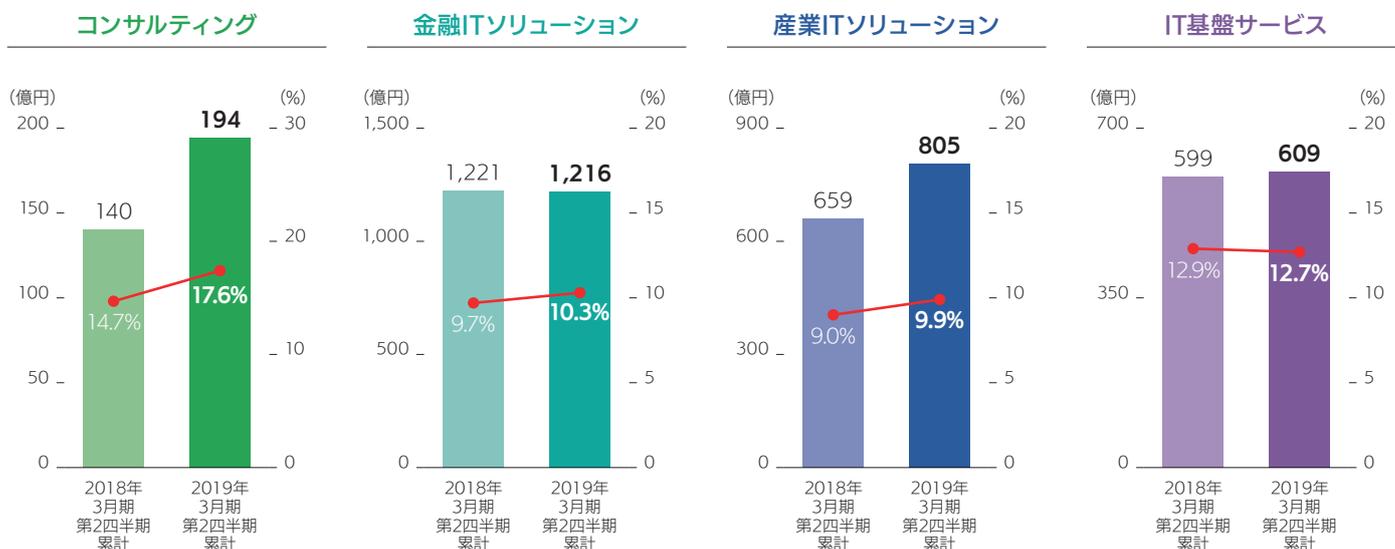
| | (億円) | 2018年3月期 第2四半期累計 | 2019年3月期 第2四半期累計 | 前年同期比 |
|--------------------|------|---------------------|---------------------|--------|
| コンサルティング | | 137 | 191 | 39.5% |
| 金融ITソリューション | | 1,210 | 1,203 | △0.6% |
| 証券業 | | 572 | 484 | △15.4% |
| 保険業 | | 241 | 293 | 21.2% |
| 銀行業 | | 209 | 209 | 0.0% |
| その他金融業等 | | 186 | 216 | 15.8% |
| 産業ITソリューション | | 654 | 801 | 22.5% |
| 流通業 | | 294 | 323 | 9.9% |
| 製造・サービス業等 | | 359 | 478 | 32.8% |
| IT基盤サービス | | 142 | 146 | 2.7% |
| その他 | | 57 | 61 | 7.2% |
| 合計 | | 2,202 | 2,404 | 9.2% |

- (注) 1. 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。
 2. 2018年4月1日付組織改正に伴い、セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比較については、当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

セグメント別損益 (第2四半期累計)

※売上高は、外部売上高に、内部売上高(セグメント間取引)を加えた数値を用いているため、外部売上高の数値とは異なります。

●売上高 (棒グラフ)
 ●売上高営業利益率 (折線)



- (注) 1. 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。
 2. 2018年4月1日付組織改正に伴い、セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比較については、当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

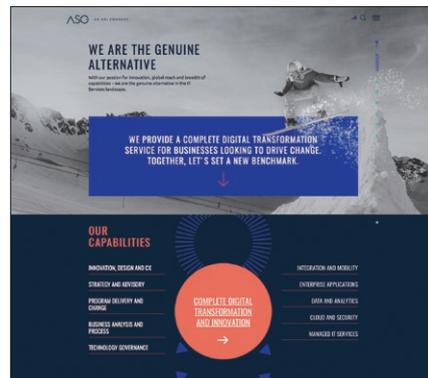


産業ITソリューション

豪州ASGが政府機関の顧客を中心に好調な受注



グループ会社の豪州ASG Group Limited (以下、ASG) が、豪州の Airservices Australia (航空管制機関) や National Audit Office (会計検査院) などの政府機関から大型案件を獲得するなど、順調に受注を積み上げています。ASGは、NRIの支援で財務基盤が健全化して大型案件への入札が可能になったほか、SMSとの一体経営により豪州での存在感が増しており、今後の成長ドライバーとして期待できます。



ASG社ウェブサイト
<https://www.asggroup.com.au/>

P7特集【NRI Workplace】もご参照ください



IT基盤サービス



産業ITソリューション

TECHNIUM



テクニウム社ウェブサイト
<https://www.technium.net/>

DMG森精機と、製造業のデジタル化を推進する合併会社「テクニウム」を設立

機械・加工・ソフトウェアの高度な技術を持つDMG森精機株式会社と、コンサルティングとITを掛け合わせたサービス・仕組みの企画開発・運用を強みとするNRIが連携し、デジタル技術を用いて製造業のより高い生産性を実現します。



経営

譲渡制限付株式報酬制度を導入し、株主の皆様との価値共有をさらに強化

取締役等への新たな報酬制度として譲渡制限付株式報酬制度*を導入しました。取締役等が就任時からNRI株式を保有することで、株主の皆様と価値観を共有するとともに、持続的な企業価値向上と中期的な業績及び株価上昇に向けた中長期的なインセンティブとすることを目指しています。

*対象者は取締役(社外取締役を除く)と執行役員等



金融ITソリューション

東京スター銀行が「Value Direct」を導入



株式会社東京スター銀行が、NRIの共同利用型インターネットバンキングサービス「Value Direct」を導入し、個人向けインターネットバンキングサービスを刷新しました。「Value Direct」の特長である、扱いやすいマーケティング機能、堅牢なセキュリティ性能、分かりやすいデザインと操作性が評価されたことによるものです。



ログイン後のトップ画面イメージ

野村ホールディングスと、ITソリューションとBPOサービスを提供する**合併会社「NVANTAGE」**をインドに設立



NVANTAGEオフィスでの記念写真

野村ホールディングス株式会社と合併で「Nvantage India Private Limited」をインド(ムンバイ)に設立しました。NRIの人材やITソリューション、BPOサービスと、野村ホールディングスの金融業務ノウハウを結集し、グローバル金融機関向けにシステムの開発・維持管理及びBPOサービスを提供。顧客の業務改革を支援・推進し、持続的な成長へ導くパートナーとなることを目指します。

「**プラチナくるみん**」認定を取得



事業所内保育所
「ゆめみなと保育園」



次世代育成支援対策推進法に基づき、子育てサポート企業として、厚生労働大臣による認定マーク「くるみん」を2007年より継続取得しています。2018年は、「プラチナくるみん」にも認定されました。これは、「くるみん」認定企業のうち、労働時間や男性による育児促進に関して、より高い水準の取組みを行った企業が受けられる特別認定です。今後も引き続き、社員の仕事と育児の両立支援を進めます。

金融ITサービス企業の世界ランキングで**9年連続トップ10入り**

IDC Financial Insightsが毎年発表する金融ITサービス企業の世界ランキング「FinTech Rankings」で、9年連続トップ10入りを果たし、2018年は第9位に選ばれました。また、FTFニュース・テクノロジー・イノベーションアワード2018ではAI(人工知能)に対する取組みが評価され、Best Artificial Intelligence (A.I.) Initiative部門で賞を受けました。NRIの金融ITソリューションは海外でも高く評価されています。



左:IDC FinTech Rankings 2018
右:FTF News Technology Innovation Awards 2018(Best A.I. Initiative部門)

DENSO
Crafting the Core



NRI SECURE

デンソーとNRIセキュアテクノロジーズが自動車のサイバーセキュリティ事業を行う**合併会社「NDIAS」**設立に合意

株式会社デンソーとNRIの子会社であるNRIセキュアテクノロジーズ株式会社がそれぞれ50%出資し、2018年12月に、NRIの連結子会社として設立する予定です。新会社「株式会社NDIAS」は、外部からのハッキングなど、新たなリスクが想定される車載電子製品のセキュリティ診断を中心としたサイバーセキュリティ事業を行います。

NRI Professional



金融ITイノベーション事業本部
エグゼクティブ・エコノミスト

木内 登英

トップエコノミストの姿勢

ニュートラルな立場で情報発信をし、
幅広い人々に貢献する

私は1987年に入社以来、基本的にエコノミストとしての道を歩んできました。日本経済の分析・予測チームに在籍後、1990年からドイツに、1996年からはニューヨークに駐在。東西ドイツの経済・通貨統合や米国での同時多発テロなど、経済の転換点に立ち会いました。これらの経験から、経済分析や見通しは、その国々の国民性、気質、歴史を踏まえて考える必要があり、日本と同じ発想ではいけないことを学びました。以来、マクロとミクロの情報を組み合わせた、複合的な経済分析・予測を心掛けています。

2002年に帰国、2004年に野村證券株式会社に転籍しましたが、2012年には日本銀行政策委員会審議委員に就任。金融政策や重要な業務案件の意思決定に携わりました。

2017年にNRIに復帰し、現在は金融政策や金融全般の分析や講演、執筆、顧客や海外投資家との面談などを行っています。これからもニュートラルな立場で、積極的に情報発信をしていくつもりです。



決定版 銀行デジタル革命：
現金消滅で金融はどう変わるか

野村総合研究所 木内 登英(著)
東洋経済新報社

NRI Professional

デジタル基盤イノベーション本部
デジタルビジネスデザイン部

田辺 里美

資生堂ジャパン×NRI

知見とテクノロジーの融合により
新たなビジネスモデルをお客様と共創



IoTスキンケアシステム「Optune」
<https://www.shiseido.co.jp/optune/>

資生堂ジャパン株式会社が2018年春からテスト展開しているIoTスキンケアシステム「Optune」(β版)の開発には、NRIが深く携わりました。資生堂が持つ最先端の皮膚科学や美容に関する知見とNRIのデジタル技術の融合により、お客様のビジネスモデルを新たに創造した好事例です。私は、そのプロジェクトメンバーの一人として、お客様と伴走してきました。

デジタル開発では、スピードが何より重要です。開発時間が非常に短く、複数の開発を同時に成立させなくてはならない中で、既存のやりかたにこだわりすぎないことを心掛けつつ、データサイエンティストなどNRI内の有識者を巻き込んで進めました。

お客様からの難題にも、すぐに「できません」と言わず、いったんお話を伺った上で、何が最善の解決法となるのかを考えるよう心掛けています。NRIの多様な人材ネットワークも活用して常にアンテナを張ることが、次のビジネスチャンスにつながると思います。

特集2 NRI Workplace

NRIグループの国内外のオフィスを探検してみました。

NRI Workplace

ASG
AN NRI COMPANY



ASG
Level 9, 167 St George's Terrace
Perth 6000 Western Australia, Australia



シドニーオフィスでの集合写真

新生ASGは総勢1,500名超で NRIのグローバル事業を牽引

豪州でNRIのプレゼンスを高め、グローバル事業を牽引しているのがASG Group Limited (以下、ASG)です。2016年にNRIグループに加わったASGは、オーストラリア連邦政府、建設業、金融機関、通信企業など幅広いお客様に対し、様々なITソリューションを提供しています。2017年には、同じくNRIグループ傘下に入ったSMSと一体経営を開始し、新生ASGとして1,500名を超える陣容で事業を推進しています。

パース本社では約70名の社員が勤務。近隣に飲食店もある中、昼食を持参する社員が多いようです。オフィスの一角には豪州や日本のビールが入った冷蔵庫があり、毎週金曜日の業務後に集まって交流を深めています。また、シドニーやメルボルンのオフィスでも、誕生日会やランチ会などのイベントが行われ、社員同士が活発にコミュニケーションを図りながら、精力的に業務に取り組んでいます。

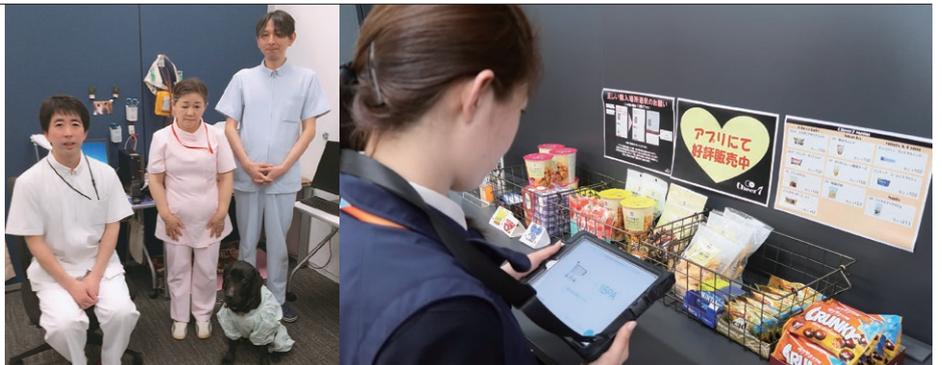


シドニーオフィスの執務風景

NRI Workplace

NRI 未来創発
Dream up the future. NRIみらい
NRI Mirai

NRIみらい株式会社
〒240-0005
神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
NRIタワー21階



ヘルスキーパー業務を担当する社員

サテライト販売スペースで業務を行う社員

障がい者が働きやすく 活躍できる環境づくりを

NRIみらい株式会社では、障がいのある社員が様々な分野で活躍しています。その一例が、ヘルスキーパーである吉山さんと盲導犬のスマレちゃんです。スマレちゃんも社員証をつけて東京本社に出勤し、吉山さんをサポートしています。

また、NRIみらいは、NRIリテールネクスト株式会社とともに、深刻な労働不足に直面するコンビニ業界における障がい者雇用に関する共同研究も進めています。

NRIみらいの社員は、定期的にコンビニ店舗やオフィス内のサテライト販売店を訪れて、商品の補充や陳列などの業務に従事しております。また、共同研究では、売り場作り全般をサポートする業務支援アプリの企画・検証にも参画し、障がい者が自立して業務ができる働きやすい環境づくりを目指しています。



盲導犬のスマレちゃん



統合レポート2018のご紹介

NRIの事業活動全体を概観できる「統合レポート2018」を発行しました。今回は、デジタルビジネスやグローバルビジネスの進捗状況などを説明した社長メッセージ、NRIを取り巻く事業環境認識とその対応策、財務戦略、社外役員メッセージ、ESGデータなどの情報を拡充しています。

 <https://www.nri.com/jp/ir/library>



株主アンケートご協力をお願い



NRIでは、経営やIR活動の参考にさせていただくために、株主アンケートを定期的に行っています。今回の「NRIだより」にもアンケートを同封しております。2018年12月31日までにご返送いただいた方には、外出時のメモ帳として重宝していただける「測量野帳」をお送りします。なお、ご回答者多数の場合には、やむなく代替の品をお送りすることがございますが、あらかじめご了承ください。ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

MEMBER OF

Dow Jones Sustainability Indices

In Collaboration with RobecoSAM

世界的なESG投資指標「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)※」の「World Index (DJSI World)」の構成銘柄に初めて選定されました。

※Dow Jones Sustainability Indices (DJSI): 米国S&P Dow Jones Indices社とスイスのRobecoSAM社が共同開発したESG投資指標で、企業の経済・環境・社会面の評価に基づき、持続可能性に優れた企業が構成銘柄として選定されます。NRIは、DJSIのアジア・太平洋版「DJSI Asia Pacific」にも、3年連続で選定されています。

株主メモ

| | |
|---------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告方法 | 電子公告(公告掲載URL http://pn.nri.com/) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 配当受領株主確定日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 株主名簿管理人及び特別口座口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所(郵送先)(電話照会先) | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 0120-232-711 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 |
| 証券コード | 4307 |

株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取請求



口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会



三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。
電話照会先は左記をご参照ください。

株式会社野村総合研究所

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
TEL 03-5533-2111 <https://www.nri.com/jp/>